

# 字幕付きCM普及推進協議会 の取り組み

平成29年11月16日

字幕付きCM普及推進協議会

〔構成団体〕 公益社団法人 日本アドバタイザーズ協会  
一般社団法人 日本広告業協会  
一般社団法人 日本民間放送連盟

# 協議会の概要

## ■ 設立

- 平成26年7月の総務省「スマートテレビ時代における字幕等の在り方に関する検討会」報告書の中で、日本アドバタイザーズ協会(JAA)【広告主】、日本広告業協会(業協)【広告会社】、日本民間放送連盟(民放連)【放送局】の3団体が連携する場をつくり、引き続き課題の検討などを行うことが必要、と提言。
- この提言を受けて、3団体を構成メンバーとする「字幕付きCM普及推進協議会」を平成26年10月28日に設立。

## ■ 目的

- 聴覚障害者の情報アクセシビリティ向上のため、関係3団体の連携により、字幕付きCMの普及を図ること。

## ■ 組織

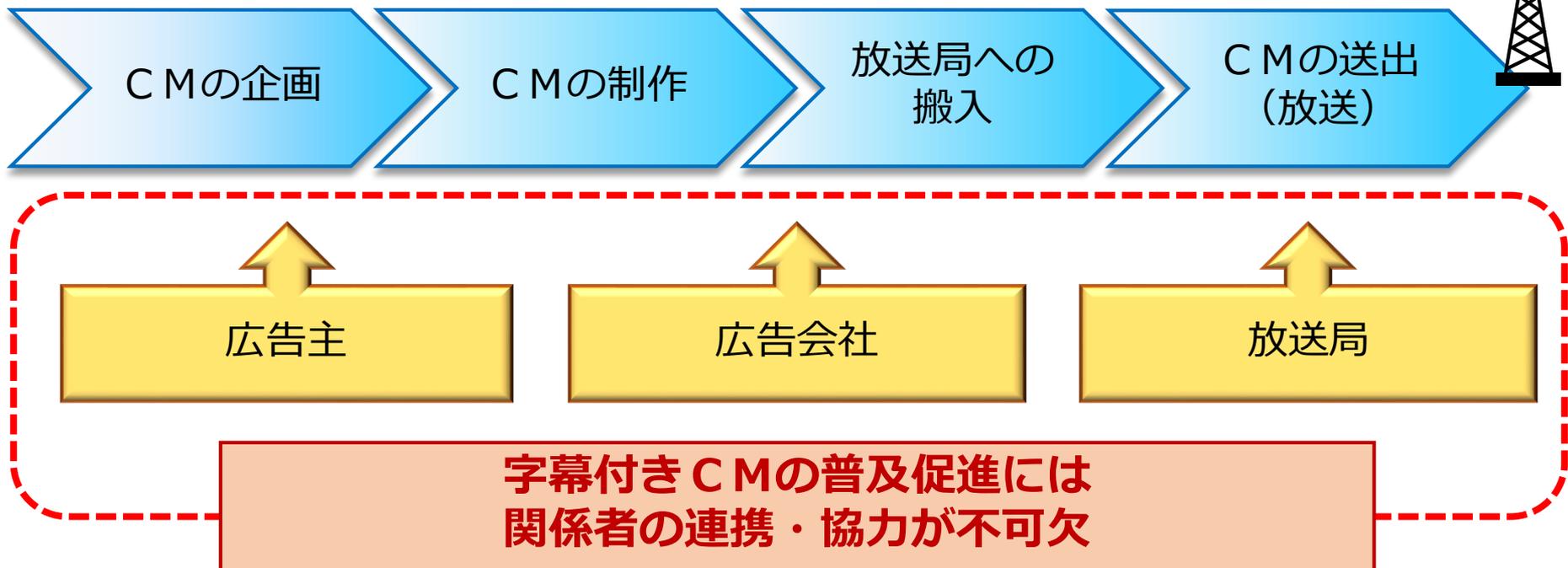
- 構成3団体で組織する運営委員会で意思決定を行う。委員長は3団体で持ち回り。

## ■ 活動

- 字幕付きCMの取り組みに関する情報・意見交換
- 字幕付きCMセミナーの開催
- 聴覚障害者団体との意見交換会の開催 —— など。

# 字幕付きCMの放送

- 広告主の企画により制作され、完成したCM素材が広告会社から放送局に搬入される。
- 放送局は、搬入されたCM素材をお預かりし、内容のチェックやCMバンクへの登録などの準備作業を経て、予定されたタイミングで安全・確実に送出する。
- 字幕付きCMの普及促進のためには、これらのプロセスに関わる広告主、広告会社、放送局の3者が密接に連携・協力することが不可欠。



# 協議会の活動

## ■ 最近の主な活動

- 実務担当者によるワーキンググループの設置
  - 普及のための課題解決に向けた具体的な検討（制作・搬入にかかるコストやスケジュール、その他環境整備などの課題を出し合い、意見交換）
  - 本年10月から順次開始している「テレビCM素材のオンライン搬入」により、簡易低廉な字幕付与作業が可能となるかどうかについて、業協を中心に研究中
- 「字幕付きCM普及推進セミナー」の開催（平成29年6月）
  - 東京、大阪に続いて名古屋で開催し、223名が参加
  - 字幕付きCMの認知拡大、広告関係者への啓もう活動
- 聴覚障害者団体との意見交換会の開催（平成29年9月）
  - 障害をもつ当事者の方々のご意見を伺う貴重な機会
- 3団体ウェブサイトを通じた「字幕付きCMに対するご意見」の受付（平成28年9月～）

# 協議会の活動

- その他各団体の取り組み

- JAAウェブサイト内に「字幕付きCM応援ページ」を開設（平成29年6月）
- 民放連ウェブサイト内で「字幕付きCMの放送実績」を3ヵ月ごとに掲載

<http://www.j-ba.or.jp/category/broadcasting/iba101840>

【平成29年7月～9月の放送実績】 25事例

## <字幕付きCMの実施状況について>

- 平成26年11月、日本民間放送連盟・営業委員会と日本広告業協会・テレビ小委員会の連名により、「字幕付きCM素材搬入暫定基準」を制定。平成27年4月から適用開始した。
- この暫定基準にもとづき、現在、在京テレビ5社の1社提供枠を中心にトライアルを実施中。複数提供枠にも少しずつトライアルを拡大している。
- 在阪・在名テレビ社、ローカルテレビ社、BSテレビ社でも、それぞれの対応状況に応じて、徐々に取り組みが広がりつつある。

# さらなる普及に向けて

- 協議会では引き続き、実務者ワーキンググループにおける課題解決に向けた具体的な検討を進めるとともに、セミナー等を通じた広告関係者の意識向上や啓もう活動を展開する。
- 放送局としても、字幕付きCM素材が搬入された場合に、CMバンクから安全・確実に送出できる仕組みを整えるとの最終目標に向けて、各社の設備更新計画の中に字幕付きCMへの対応を織り込んでいく。
- 今後も3団体が密接に連携・協力しながら、字幕付きCMの普及推進に向けて取り組んでいく。

以 上